

提出物

1 応募用紙

チラシの応募用紙に必要事項を記入してください。



提出方法

郵送の場合

応募用紙とプレゼンテーションシートを事務局まで郵送ください。



メール送信の場合

応募用紙とプレゼンテーションシートを添付のうえ、下記メールアドレスまでお送りください。

メールのタイトルは「48時間デザインマラソン応募書類」としてください。データが添付容量を超える場合、データ送付サービス等をご利用ください。



2 プレゼンテーションシート

A3サイズ横使いでレイアウトし、1枚に個人や団体の取り組みを簡潔にまとめて作成、添付してください。特にフォーマットはごさいません。

※ご提出いただいた資料はお返しできませんのでご了承ください。

応募締め切り

2018年7月31日(火)必着  
結果は8月10日(金)までに  
お知らせします。



応募・お問い合わせ先

NPO法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地 みやぎNPOプラザ内 No.13

tel:070-5323-4203 E-mail:soup@ableart.org URL:www.ableart.org

ご確認ください

●障害のある参加者の応募に際しては、必ず障害のある参加者ご自身(と場合によりご家族や後見人等)の同意を得たうえで応募ください。

●福祉事業所の応募に際しては、代表者の同意を得たうえで応募ください。

●ワークショップおよび、採択された商品は、活動を紹介する目的で、写真を撮影したり取材させていただきます。これらの写真やテキストは、仙台市またはNPO法人エイブル・アート・ジャパンが実施する展示会、出版物などで展示・掲載・出版等されます。また、仙台市またはNPO法人エイブル・アート・ジャパンのウェブサイト・映像・印刷物などで広報や宣伝のために編集のうえ使用することがあります。

個人情報の利用目的

①ご応募いただいた方の個人情報に関しては、選考結果の通知、本プロジェクトの運営に必要な範囲でのみ用います。

②上記目的の他、ご本人または代理の方の同意を得た範囲内で利用させていただく場合があります。

③応募者の個人情報をご本人または代理人の方の同意なく利用し目的達成に必要な範囲における業務委託以外の第三者に開示・提供いたしません。ただし、法律のもとに正当に請求された場合はこの限りではありません。

応募用紙 (※は必須事項)

発送時にはプレゼンテーションシートの同封をお忘れなく。

※お名前	ふりがな	
		※グループの場合は事業所名・アトリエ名
※代表者名 or 担当者名	ふりがな	
		※グループの場合のみ。障害のある参加者と連絡担当者が異なる場合は担当者名
※住所	〒	
		※グループの場合は所在地
※電話番号	WEBサイト	
FAX	E-mail	
※応募のきっかけ		※ウェブサイト、知人の紹介など

※応募の動機



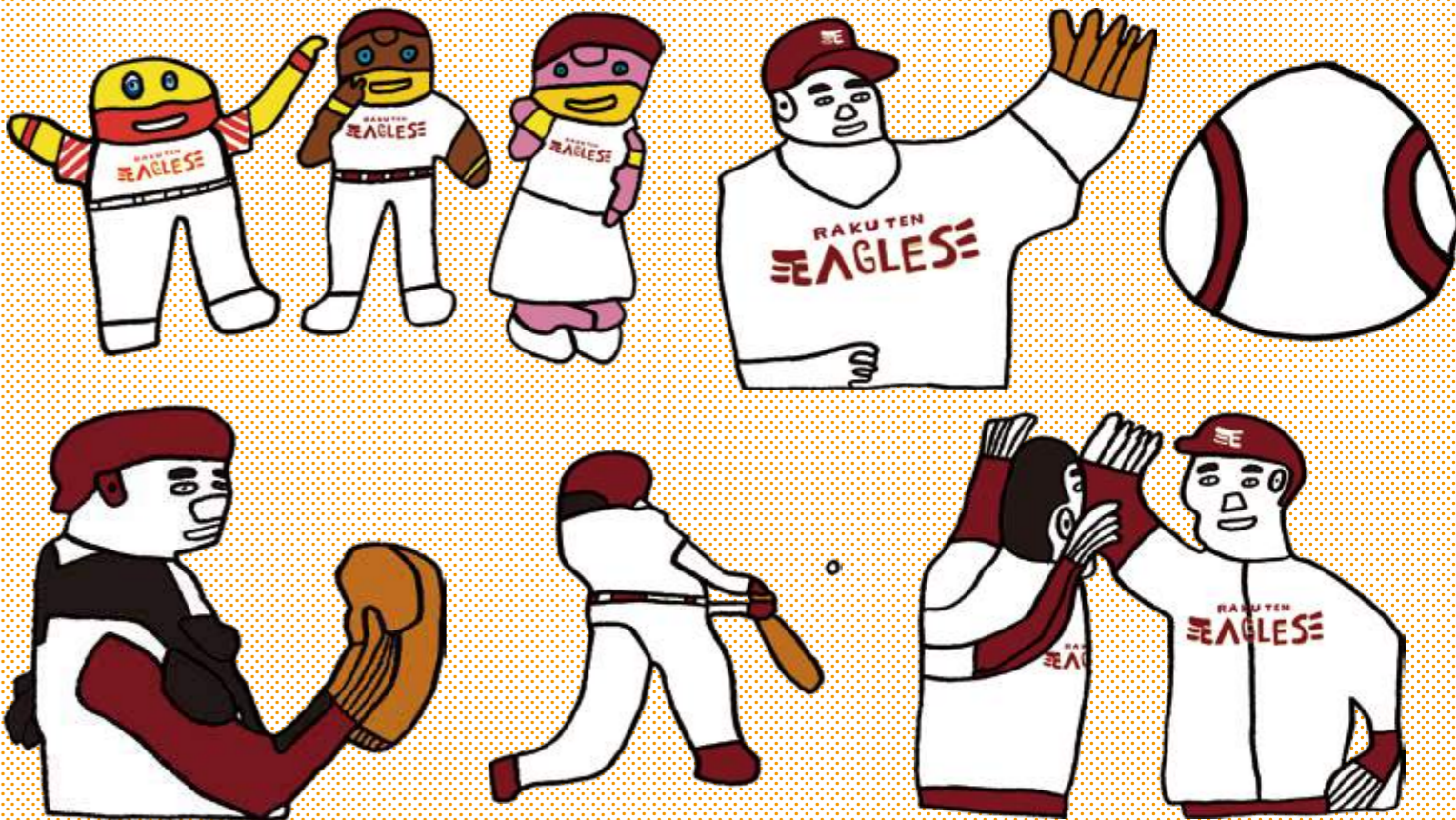
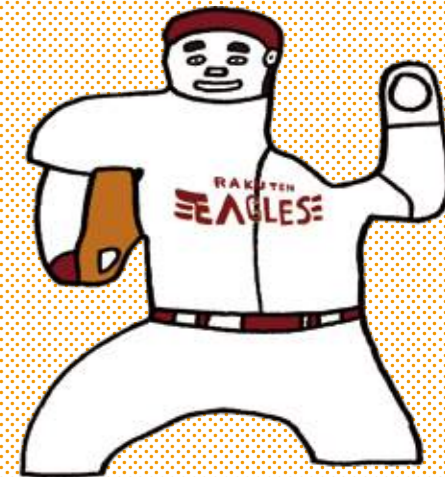
# SHIRO Lab.

ともにつくる、  
実験場。

## 48時間デザインマラソン

東北楽天ゴールデンイーグルス編  
東北楽天ゴールデンイーグルスとコラボして応援グッズをつくらう

参加者  
募集!



### 2018.8.21(火)/8.24(金)-8.25(土)@楽天生命パーク宮城

SHIRO Lab.は仙台市域に暮らす障害のある人と地元クリエイターが、一緒に商品開発を行うプロジェクト。障害のある人たちによる表現作品の魅力と、その原石ともいえる作品の魅力を引き出し社会に発信するデザインの必要性を伝えるために生まれました。2017年度からは東北楽天ゴールデンイーグルスと一緒に観戦し、その後、応援グッズをつくる取り組みをすすめています。この機会に、福祉とクリエイティブ産業の協働を体験しませんか。みなさまのご参加をお待ちしております。

主催|仙台市(事務局NPO法人エイブル・アート・ジャパン)

協力|株式会社楽天野球団、公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団、THE6、一般財団法人たんぽぽの家  
クリエイターのための異分野協働機会創出支援事業(仙台市経済局地域産業支援課)



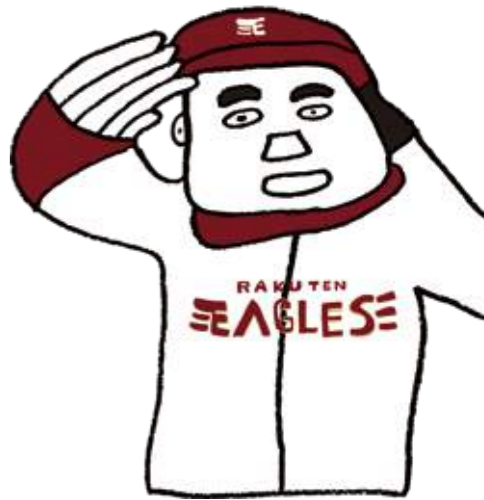
## SHIRO Lab.について

NPO法人エイブル・アート・ジャパンは、2012年度より国内のNPOと協働で、「Good Job!プロジェクト」を推進しています。これは、障害のある人の表現を生かした魅力的なプロダクトや、伝統産業・地場産業と福祉事業所の協働によるプロジェクトなどを紹介するもので、これまで全国13カ所で仕事生まれる場づくりを行ってきました。2011年からの「Good Job!東北プロジェクト」では、おもに宮城県内の福祉事業所の商品のデザインカアップやブランディングを支援。SHIRO Lab.はその中でも仙台市におけるスピンオフ・プロジェクトです。



## 株式会社楽天野球団からのメッセージ

「東北楽天ゴールデンイーグルスや楽天命パーク宮城を体験していただき、楽しさや躍動感を感じるような新しい商品が誕生することを楽しみにしています。このプロジェクトを通して、誰もが普通に暮らし、楽しみ、活躍できるような地域づくりにつながればと思います。」



### なぜ「SHIRO」？

仙台の商店などで置物や色紙が飾られている商売繁盛の福の神「仙臺四郎」。江戸末期～明治初期に実在した人物で、知的障害を持ちながらも大変な人気者でした。障害のある人も当たり前「町の中の一人」として暮らしていくために、「現代の仙臺四郎よ、来たれ!」という思いで、名前を拝借しました。



## 採択するアイデアの審査基準

- 協働性** 障害のある人とともに作るという視点や着想がある
- 解釈** 地域やテーマに応じた取り組みとなっている
- 経済性** 商品化できる可能性がある
- 影響力** 情報発信に積極的で、人に影響を与える可能性がある
- デザイン** 造形的に美しく、機能性も考慮されている

## 会場

楽天命パーク宮城（仙台市宮城野区宮城野2丁目11-6）

## 募集対象と定員

定員30人。参加者は仙台市在住／在学／在勤の方を優先とします。但し、A.B.カテゴリーについては宮城県在住／在学／在勤の方の参加が可能。詳しくは事務局までお問い合わせください。

- A.障害のある人で絵や文字を描くこと、表現することが好きな人、野球が好きな人など。**  
※同伴者の有無と、サポートの必要がある場合はその内容をあらかじめ事務局までお知らせください。
- B.障害のある人と生産活動を行っている福祉事業所 障害のある人と職員との2-5人のグループ。**
- C.障害のある人や福祉事業所との商品開発に関心がある、または実績があるデザイナー**

## 参加費

無料。ただし、8月21日(火)の楽天命パーク宮城の駐車場代は有料(その他の日は駐車場無料)。

## 参加者の決定について

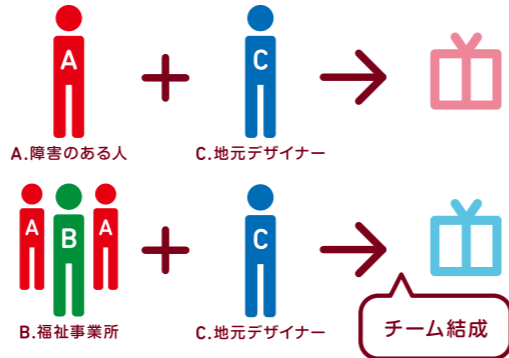
応募者多数の場合、書類審査により参加者を決定します。書類審査は、ファシリテーターのライラ・カセムさん、主催者である仙台市、事務局（NPO法人エイブル・アート・ジャパン）が担当します。



## 活動内容とプロセス

この事業では商品づくりワークショップ等を通じて、クリエイターにはデザインの力や異分野との協働の可能性を、障害のある人たちには文化活動を通じた社会参加や経済活動の可能性を実体験することを目指します。最初に、障害のある人(A)または福祉事業所(B)と、地元デザイナー(C)の組み合わせをつくり、チームごとに東北楽天ゴールデンイーグルスの応援グッズのアイデアを提案します。

※組合せはエントリーシートを参考にファシリテーター、主催者でつくります。  
※提案していただく商品のアイテムは開催までにお伝えします。



## 1 東北楽天ゴールデンイーグルスを応援

チームの顔合わせの後、野球を観戦します。楽天命パーク宮城の熱気や楽しさを体感しながら、チームごとに交流を深めます。そこで感じたことを後日、絵や文字などで表現していただき、2に生かします。

【日時】8月21日(火) 試合開始18:00-  
【会場】楽天命パーク宮城 【参加費】無料

※途中退席も可能です。  
※会場までは各自でおこしください。同日のみお車の場合は有料駐車場に止めていただくようお願いいたします(8月24日、25日は駐車場無料)。  
※暑さ対策のため、帽子などご持参ください。水筒やペットボトルの飲物をスタジアムに持ち込むことはできないことになっております。ただし、健康上の理由がある場合は、事前にSHIRO Lab.事務局までお知らせください。

## 2 48時間デザインマラソン

楽天命パーク宮城で集中的にデザイン制作に取り組む2日間。

【日時】8月24日(金)~8月25日(土) 各日10:00-16:00  
【会場】楽天命パーク宮城 EAGLES' NEST

1日目 8月24日(金)

1の後に制作した作品を見せ合ったり、楽天命パーク宮城を散策して絵を描いたりした後、商品のアイデアを話し合います。

2日目 8月25日(土)

商品のアイデアをまとめ、最後はチームごとにアイデアを発表します。

## 3 アイデア採択 → 商品化へ!

ワークショップで生まれたアイデアは、株式会社楽天野球団、ファシリテーター、主催者で審査し、3点のアイデアを採択して商品化します。商品は東北楽天ゴールデンイーグルスチームショップで販売いたします。また、主催者が調整する催事等でも販売し、成果と課題を分析します。これにより、障害のある人たちの経済的自立に貢献する商品としてのブラッシュアップをめざします。



※採択された場合には、絵や文字の使用料、デザイン費をお支払します。  
※採択された成果物の権利等は参加した障害のある人、福祉事業所、デザイナーとの合意形成により決定するものとし、主催者がそれをサポートします。

## 48時間デザインマラソン ワークショップファシリテーター

ライラ・カセム Laila Cassim  
グラフィックデザイナー／東京大学先端研 特任助教。  
社会から取り残されたグループのエンパワメントにインクルーシブデザインのプロセスと視覚伝達デザインのスキルをツールとして利用することに力を入れて、作品制作と研究に取り組んでいる。おもな仕事に、全国各地の障害福祉施設で利用者・スタッフと信頼関係を築き上げ、対等の立場でアート活動を元に商品の企画・制作と開発に携わる。



## イラストレーション 佐々木英明(ささき・ひであき)

絵を描くことが好きで、描いてほしいとお願いすると、どんな絵も描く。人物画は、性別を問わず常に同じ顔になるのが愛嬌。ジャンルを問わず音楽を聴くことが大好き。好きな食べ物はサーモン。SHIRO Lab.2017では、イラストが東北楽天ゴールデンイーグルスの応援グッズに採用!

